

ずばぬけて上手な人はいませんでした。

ある意味、全員が上手ですが、一定の水準に達していないということでもあります。

読んだ人が多かった、「しゃべれどもしゃべれども」は、本来楽しい落語のオハナシです。それを、どんなに悲しい場面でも、あるおかしみを持って表現しなければ作者の考えたものとは、ちがう作品になってしまうでしょう。

読んでいる文章の指す表現を勝手に変えているのはオカシイです。

スクルージはいやなおじいさんですが、あまりやりすぎは良くないのですが、他の文も会話も同じでは、メリハリが、ありません。発声が上手な人ほど、滑舌のあまさが目立つものです。だからこそ、読みが上手になったと思って安心しない様にしましょう。